

なかつか 亮



11月13日
勝島にOPEN

「(株)ヤマダ」に続き、「(株)コジマ」も出店

巨大ショッピングセンター

駐車場649台、駐輪場450台

共産党「町の商店も、さらに打撃を受けるのでは」

品川区「大型店と地元商店街が共存し、ともに活性化する」

施設イメージ 東京競馬(株)のホームページより転載



「駅前ヤマダ電機にお客が取られ、この不景気でお客も一段と減った」と話す町の電気屋さん。どの商店街も厳しい営業が続く中、勝島1丁目に巨大ショッピングセンターが出店します。経営は東京都競馬(株)が出資する第3セクターの東京競馬(株)。商店への影響は『お構えなし』の出店に、「3セク」のあり方が問われます。

大規模店出店

4月14日の区民委員会で大規模小売店舗新設の報告がありました。名称は(仮)勝島ショッピングセンター。オープンは今年11月13日。場所は勝島1丁目、大井競馬場向かえです(地図裏)。店舗面積約1万1600㎡。(株)コジマ、(株)文化堂、ホームマック(株)など、家電、食品、ホームセンター、ドラッグストア、飲食店が入る巨大ショッピングセンターです。営業時間は(株)コジマ、(株)文化堂は朝9時〜夜10時。駐車場649台、駐輪場450台を備えます。裏へ

連載の予算議会特集はNo.4で終了となりました。特養ホームや学校統廃合、再開発などの問題などは共産党区議団発行の区議会報告5月号をご覧ください。

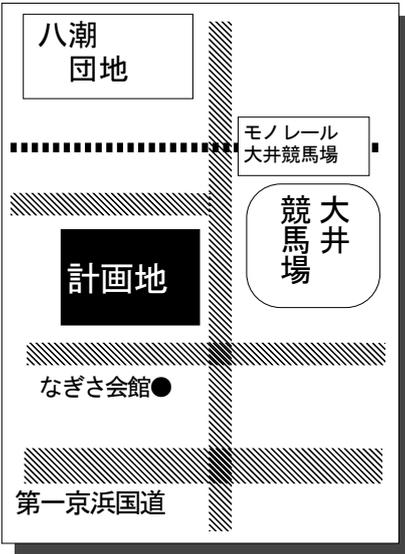
商店街そっちのけ

「儲け本位」って何？

大型店の出店は、区内商店街にとって死活問題です。東京都競馬株は、株式会社とはいえ、東京都などが出資する第3セクター。東京都競馬株は「大井競馬場の発展に寄与するための駐車場の有効活用」と話しますが、自分たちの売上アップのためには、商店街そっちのけで巨大商業施設を建設とは。これで良いのでしょうか。

大型店が次々と出店

大井町駅前丸井（現..



ヤマダ電機）やイトーヨー

カ堂、大崎駅周辺のダイエー、JT跡のジャスコなど、品川区は再開発事業の拡大で、大型店を次々と誘致してきました。

その一方で、商店数はこの10年間で7百店程減少。不況や増税による売り上げ減少、相次ぐ大規模店出店による影響は明らかです。

歩いて通える商店街は「街」の命です

商店の減少は、消費者である住民の暮らしの直結します。近所に商店がなくなったら、特に遠く



買い物するところが減って困った

まで買い物に行けない高齢者にとっては「死活問題」となります。

共産党は、商店街への影響を区に問うと品川区は「大規模店と地元商店街が共存し、ともに活性化する」と答弁しました。

はたして、これで区民の生活、商店街の営業を守れるのでしょうか。私は商店街の位置づけこそ強めるべきだと思います。皆さまはどのようにお考えになりますか。



大型店と共存、共栄と言われても...

東京都競馬株式会社とは

東京都競馬株式会社は、競馬など公営競技の施設会社。主要株主が東京都および23区競馬組合となる「第3セクター」です。現在、大井競馬場などの施設運営の他、東京サマーランドや大規模倉庫・流通センターなど物流関係施設の経営も手がけています。

東京都競馬株による巨大商業施設の経営は、今回が第1号目となります。

日本共産党